

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー 【2019No.131】 (HP 掲載)

分類 : CD

作曲家 : J.S.Bach

曲名 : ゴルトベルク変奏曲 BWV.988

演奏 : 塚谷水無子

発売 : Pooh's Hoop

No. : PCD-1712

概要 :



収録曲 :

01-32. ゴルトベルク変奏曲 BWV.988 (アリアと 30 の変奏曲)

33. 《主イエス・キリストよ、われ汝に呼ばわる》 BWV.639

34. 《来たれ、異教徒の救い主よ》 BWV.659

演奏 : 塚谷水無子 (ピアノ)

楽器 : ベーゼンドルファー 225 (2009年製作)

録音 : 2017年12月26~29日

場所 : チャボヒバホール (立川)

プロデューサー : 四方善郎 (Pooh's Hoop)

エンジニア : 生形三郎 (Pooh's Hoop)

ピアノチューナー : 津田克己 (ベーゼンドルファー・ジャパン)

解説 : 塚谷水無子、生形三郎

アートワーク : 加藤小百合 (Pooh's Hoop)

バッハのゴルトベルク変奏曲については、下記においてメディア間の聴き比べをし

ています。このうち、My Sonic Signature Gold の導入(11)の、2016.9.6 放送のサラ・ディビス・ビュクナーの演奏は、本 CD と同じくブゾーニ編曲版のピアノの演奏ですので、改めて聴き比べてみました。

[My Sonic Signature Gold の導入\(9\)](#)

[My Sonic Signature Gold の導入\(10\)](#)

[My Sonic Signature Gold の導入\(11\)](#)

まず、本 CD のブゾーニ編曲版ゴルトベルク変奏曲は、ゆったり目のテンポで、木質感のあるベーゼンドルファーの音色が活かされており、美しい詩的なバッハになっています。あまりに心地よい音色であり、眠ってしまい、最初から聴きなおしたくらいです。

ゴルトベルク変奏曲は、チェンバロでの演奏を聴く機会が多かったことから、最初にブゾーニ編曲版を聴いたときは違和感がありましたが、本 CD の演奏を聴くと、まったく別の曲と思っていいほどの仕上がりになっています。

これに対して、BS 放送録画のサラ・ディビス・ビュクナーの演奏や、YAMAHA を用いて、テンポも速く、鋭角的な打鍵で緊張感をもたらす演奏で、チェンバロの演奏を基準にすれば、少し遠ざかったところに位置しているように感じます。

ともかく、本 CD は新鮮なバッハ像を示してくれた印象です。

以上